

啐啄之機

<校長だより>

平成26年4月15日

第1号

新庄市立泉田小学校

文責：齋藤 宏

子どもたちに「最高の笑顔」が輝く一年に!



いよいよ、泉田小学校の閉校の年度がスタートしました。本校は、明治7年5月13日に、新田繁人氏の家屋の一部を使用して、泉田学校が創立されました。従って、本校は、今年度で、創立140年目を迎えます。長きにわたって、優秀な人材を輩出してきた本校の教育が今年度で終了します。そして、その伝統と文化は、小中一貫教育校「萩野学園」に引き継がれます。

ですから、今年度は、運動会も相撲大会も、文化祭も何事も、すべて最後の行事や活動となります。これまでの指導の成果を十分に発揮し、更には、課題解決のための方策を取り入れながら、職員一心を一つにして指導に当たり、充実した一年にして参ります。そこで、今年度の学校教育目標を

「挑戦、そして『最高の笑顔』輝く 泉田っ子の育成」

にしました。子どもたちの意欲や積極さを高め、物事に粘り強く挑戦させ、最後には、達成感と共に、子どもたちに『笑顔』が輝くようにしていきたい。そして、自分への自信を深め、自尊感情を育てていきたいという願いを込めています。しかも、その『笑顔』は、閉校の年にふさわしい、『最高の笑顔』にしたいと考えました。今年度も、保護者のみなさまや地域のみなさまの、益々のご理解とご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は、6名の転入職員を迎えました。そして、4月8日には、28名の元気いっぱいの1年生を迎え、教育委員の小山貞子様始め、たくさんのご来賓のみなさまや、保護者のみなさまの見守る中、入学式を行いました。1年生は、立派に参加することができました。

平成26年度は、職員23名、児童197名で、順調にスタートしました。今年度も、「23人で育てる197人」を職員合言葉に掲げ、子どもたち一人一人を大切に、学級担任を中心にしながらも、職員全員で指導にあたっていきます。

学校経営キーワードは、今年度も「連携・創造・成長」です。保護者や地域のみなさまと連携を強め、クリエイティブな発想で、子どもたちの一層の成長をめざして取り組んでまいります。



シリーズ「萩野学園開校に向けて」㊟

今年度の1年生は、萩野学園の新ジャージを着用します。

また、今後ジャージを更新する場合は、新ジャージが購入できるようになっています。シューズも同じです。

そのような購入・更新計画を一覧にしたのが、右の表です。これから購入する際に、参考にしてください。

(昨年12月萩野学園説明会資料・一部更新)

学年	平成26年度		平成27年度(開校)	
		シューズ		シューズ
小学校1年 (1年)	新ジャージ・新シューズを購入。	(黄)	新ジャージ・新シューズを購入。新制服は再販。	(赤)
2年 (2年)		(黄)	新制服を再販。	(黄)
3年 (3年)		(赤)		(黄)
4年 (4年)	更新の際には、新ジャージ、新シューズを購入できる。	(黄)	新シューズを購入。更新の際には、新ジャージを使用できる。新制服を再販。	(赤)
5年 (5年)		(黄)		(黄)
6年 (6年)		(赤)	新制服・新ジャージ・新シューズを購入。	(黄)
中学校1年 (7年)	新制服・新ジャージ・新シューズ・新カバンを購入。	(黄)	新制服・新ジャージ・新シューズ・新カバンを購入。	(赤)
2年 (8年)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン、ジャージ、シューズの更新は、新タイプで。	(赤)	更新の際も、新ジャージ、新シューズを購入。	(黄)
3年 (9年)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン、ジャージの更新は、新タイプも可。	(黄)	現行の制服、ジャージ、シューズ、カバン、ジャージ、シューズ更新は新タイプで。	(赤)

平成26年度 泉田小学校の職員は今年度も23名です。どうぞよろしくお願いします！

各種相談や問い合わせは、下記の職員にお聞きください。

＜主な相談・問い合わせ窓口＞

教 頭…施設設備の管理・体育館等施設使用・PTA活動全般 その他 何でもどうぞ！

教務主任…行事予定・月週予定・登下校時刻等 教育計画全般

副教務主任…情報教育・特別支援教育・外国語活動等 教育活動全般

主査(事務)…集金関係・就学援助・施設設備 等

養護教諭…検診・治療勧告・心身の健康・PTA安全互助会 等

各学級担任…学年行事・学級に関する事・児童に関する事 等

校 長にも、教頭と同様に、何でもご相談ください。

「教育相談」は、希望する職員に遠慮なくご相談ください！

タイトル「啐啄之機」(そったくのき)について

「鶏が卵からかえるとき、殻の中で鳴くひなの声と、親鶏が外から殻をつつくの音が内外相呼応すること。」(新選漢和辞典より)であり、子どもの学ぼうとする意欲と、親や教師の指導が一致したとき、子どもたちの大きな成長につながるという意味があります。このような機会を多くして、指導していきたいという願いを込めました。